

独立行政法人国立病院機構
信州上田医療センター附属看護学校
(旧長野病院附属看護学校)

同窓会会報

No.21

令和3年5月28日

発行

独立行政法人国立病院機構

信州上田医療センター

附属看護学校同窓会

責任者：渡辺 裕子

印刷：緑ヶ丘印刷

閉校と総会中止について

同窓会長 渡辺 裕子

若葉のフレッシュな香りに伸びやかな気持ちになるこの頃、同窓会の皆様には、お元気で活躍のこととお喜び申し上げます。

前回の同窓会の後、思いもよらぬコロナ禍となり生活様式が一変してしまい、医療や施設での負担は計り知れない現状となっております。

当看護学校においても入学式、卒業式、戴帽式が十分に行えず、当該学生と学校職員のみで行っている状況です。同窓会として前年度同様、祝電やお花を送らせていただいておりますが寂しい限りです。

今年度は同窓会総会が開催される年ではありますが、同窓会役員に話しかけた結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策といったしまして、総会を取り止めることと

なりました。同窓生との再会を樂

しみにしていただいた方もいらつ

しゃると思えますが、医療や施設

での現場で働いている方々が多い

中、今回対面での総会は難しいと

判断いたしました。

又、昨年10月当看護学校は令和

3年度の入学生の受け入れをもつ

て閉校となることが決定されまし

た。母校がなくなるということは

非常に悲しいことでもあります。学

校が閉校になる前に、ぜひ学んだ

校舎にお立ち寄りください。

なお、今後の同窓会のあり方や

残金の使用等の参考にさせていただきます

ただたく、アンケートを同封さ

せていただいております。御意見

等お書きいただき、お手数ですが、

返信をお願い致します。

看護学校の近況について

看護学校教育主事

岡村 眞喜子

日頃より、同窓会会員の皆様におかれましては、学校運営についてご支援とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

令和3年4月1日付けで着任いたしました、教育主事の岡村

と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私は東京、埼玉、

神奈川、千葉にて臨床と看護教育に携わってきましたが、今回

長野県での勤務は初めてとなります。今年は例年になく暖かい

春の陽気だそうで、赴任時や入学式には満開の桜で迎えられ、

新年度をスタートいたしました。学校の方では、この春送り出した卒業生41名は、全員無事に

看護師国家試験を合格いたしました。昨年度から引き続きコ

ロナ禍の中で、学習環境としては大変厳しい状況下でありなが

らも、多くの皆様に支えられ看護師としての一歩を踏み出した

ところです。さて、同窓会会員の皆様はご

存じの方も多いと思いますが、このたび、国立病院機構信州上

田医療センター附属看護学校は、今年の入学生(46回生)の受け

入れをもって学生募集^{廃止}となり、令和6年3月にて閉校すること

となりました。本校は昭和51年に国立東信病院附属看護学校と

して開校以来、昭和から令和にかけて3時代とともにこの上田の

地で看護教育を行ってまいりました。しかしながら、昨今の少

子化や看護基礎教育の大学化等の社会情勢の変化等により、国

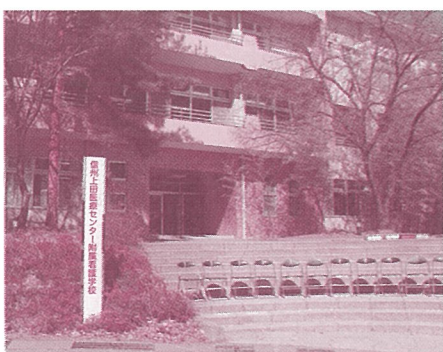
立病院機構においても附属看護学校の運営やあり方について検

討がなされてまいりました。当校は校舎の老朽化により、

建て替えが必要なことや、近年の高校生の大学志向と県内の2

大学に看護学部が設立されたこともあり、学生の確保に苦慮し

ていることを踏まえ、多方面との検討を重ねた結果、閉校とい



本校の校舎

令和3・4年度新役員名簿

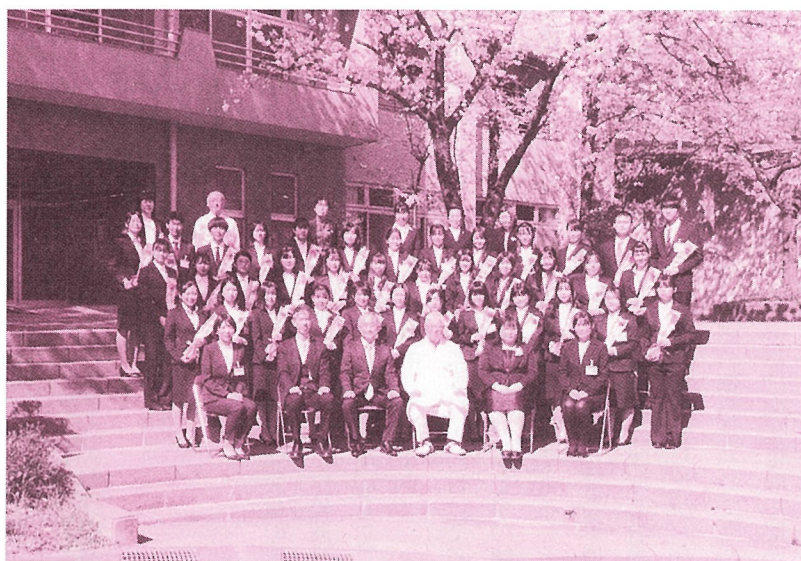
会長 横関 たえ子 (10回生)

副会長 滝澤 奈緒美 (23回生) ・ 宮澤 麻由子 (22回生)

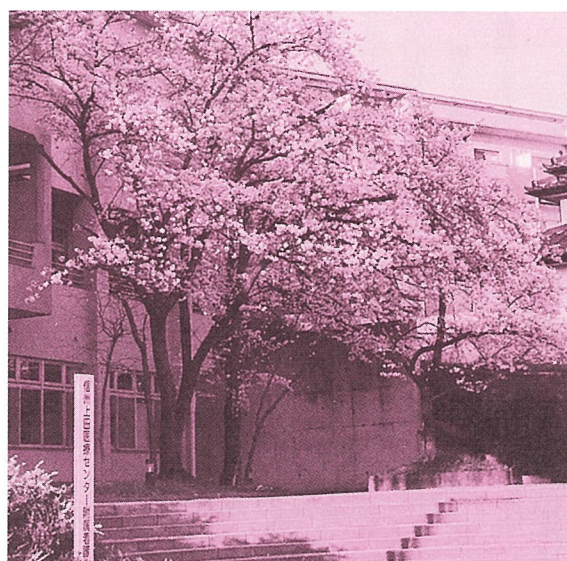
書記 佐藤 剛志 (29回生) ・ 水谷 美香 (20回生)

会計 六川 早和子 (25回生) ・ 市川 美穂 (8回生)

会報 岡村 優希子 (26回生) ・ 外谷 友里子 (30回生)



「令和3年度入学式」



「桜と校舎」

同窓会閉会についてのアンケートのお願い

現役員で検討を重ねましたが、看護学校閉校に伴い同窓会の長期の継続は困難と思われる、閉会の運びとなることはやむを得ないと思われま

す。そこで今後の同窓会方針を決めていくために、みなさまのご意見を伺いたく、アンケートをお願いしたいと思います。同封のハガキの質問にお答えいただき

7月10日までに返信をお願いします

お忙しいところお手数ですがよろしくお願いします。

尚、回収いたしましたハガキは、アンケートの集計を行った後、シュレッダーにて処理をさせていただきます。